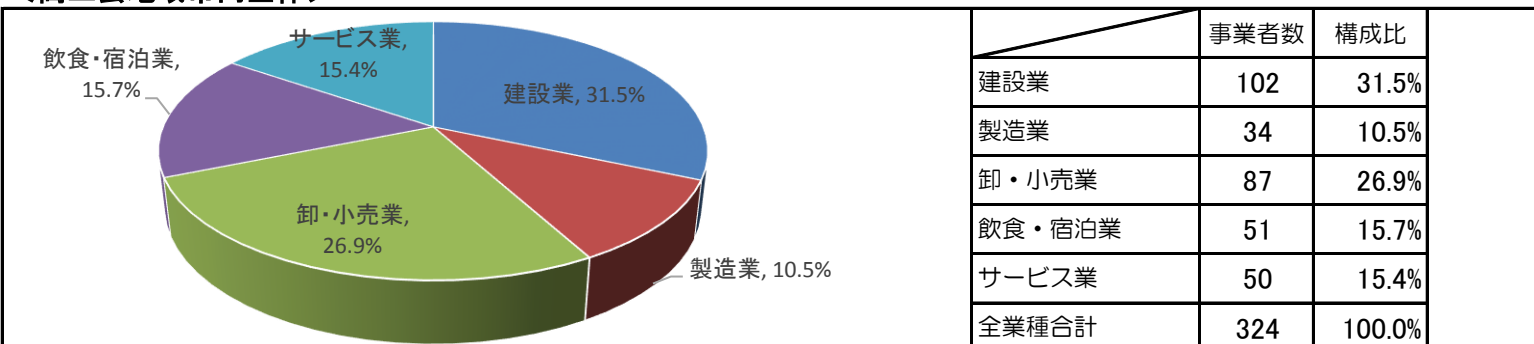


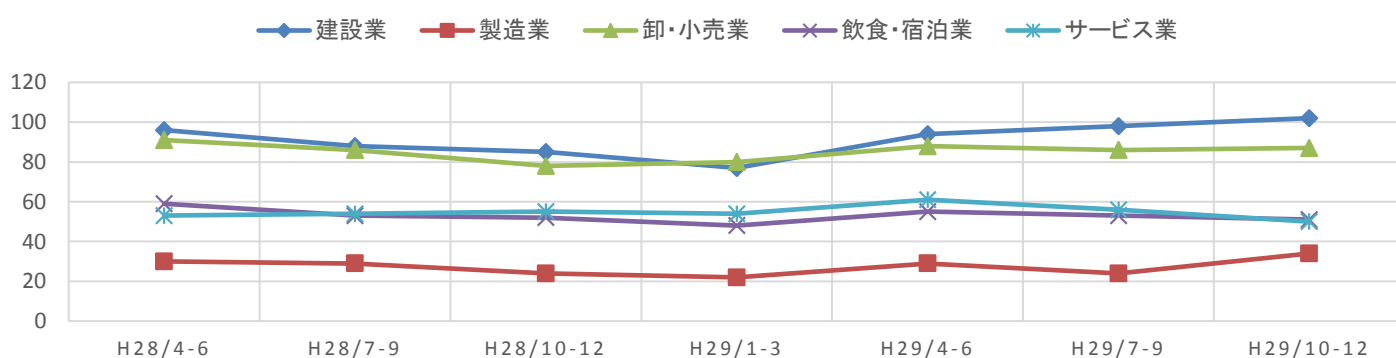
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



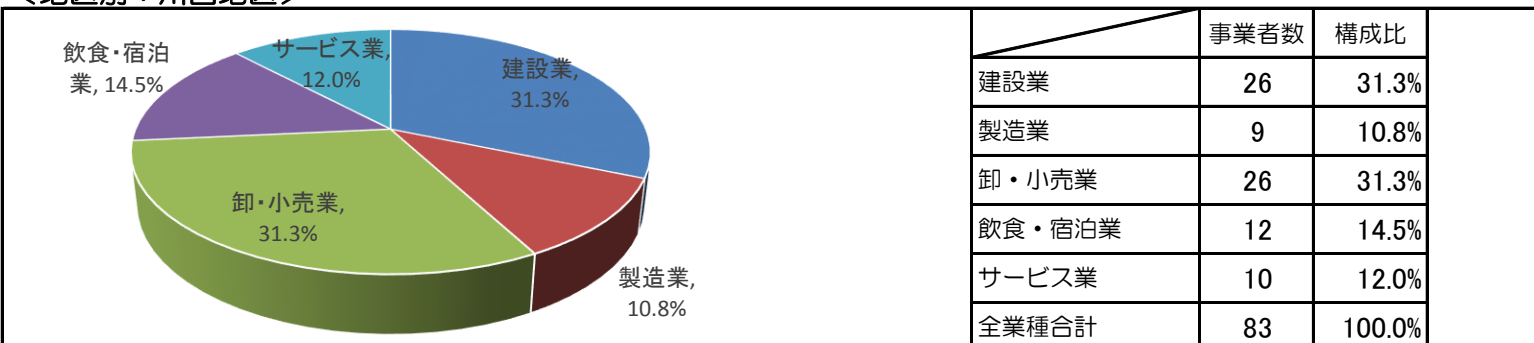
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



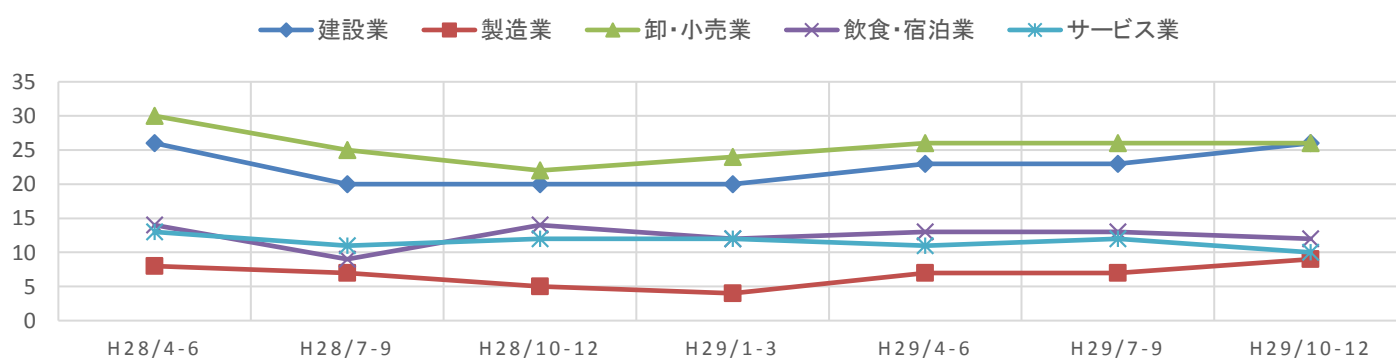
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約31%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

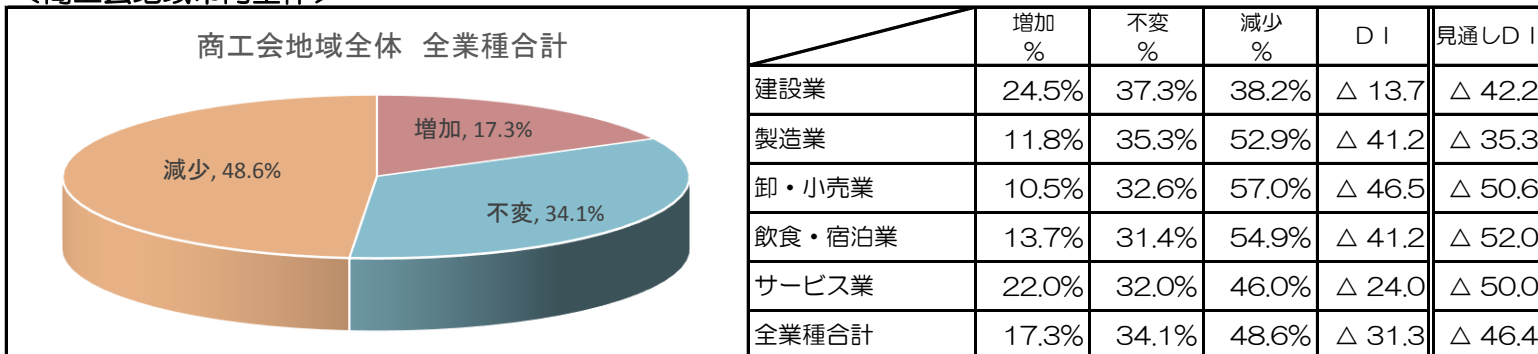
川西地域の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、83社(回収率83%)からの回答を基にした集計結果である。これまで同様、製造業・サービス業等の割合が少ないものの、その他の業種に大きな隔たりのない調査結果である。

DI 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

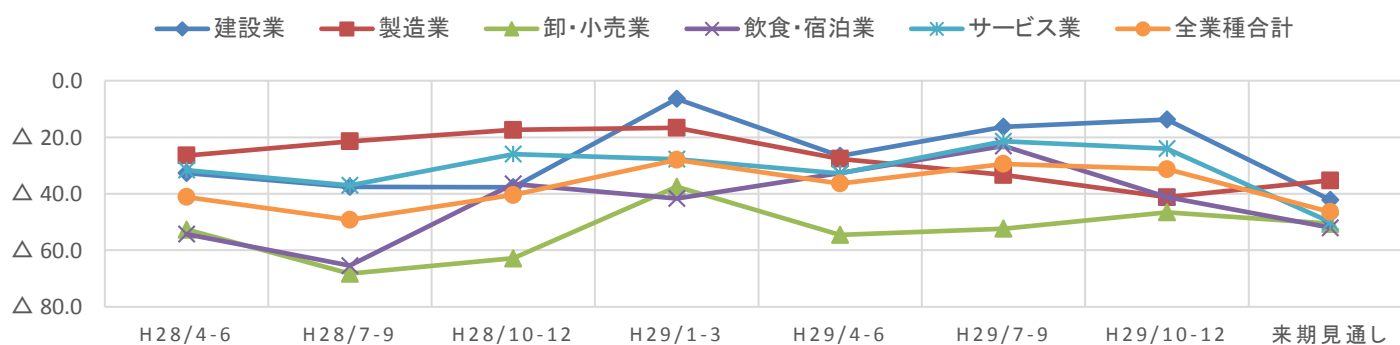
1. 売上について

・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



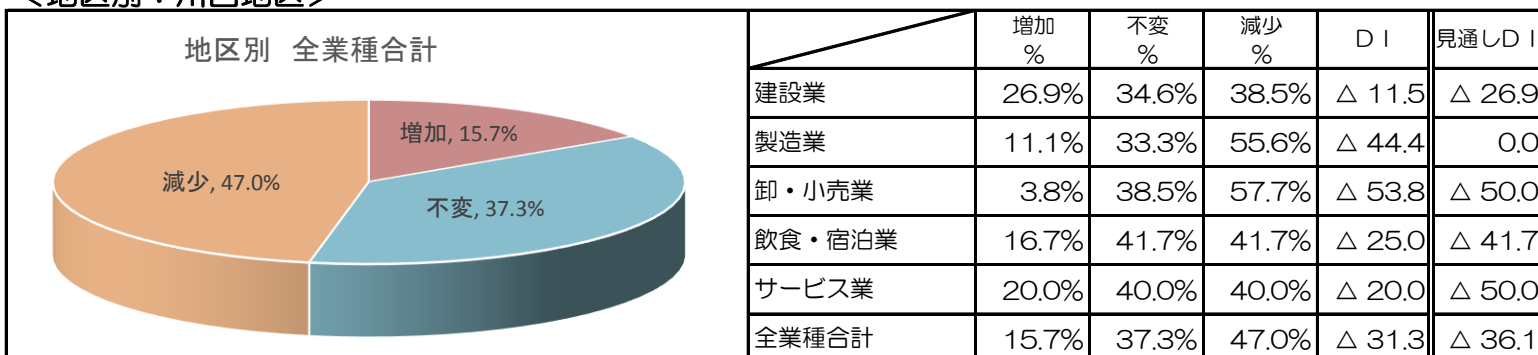
業種別売上の推移（市内全体）



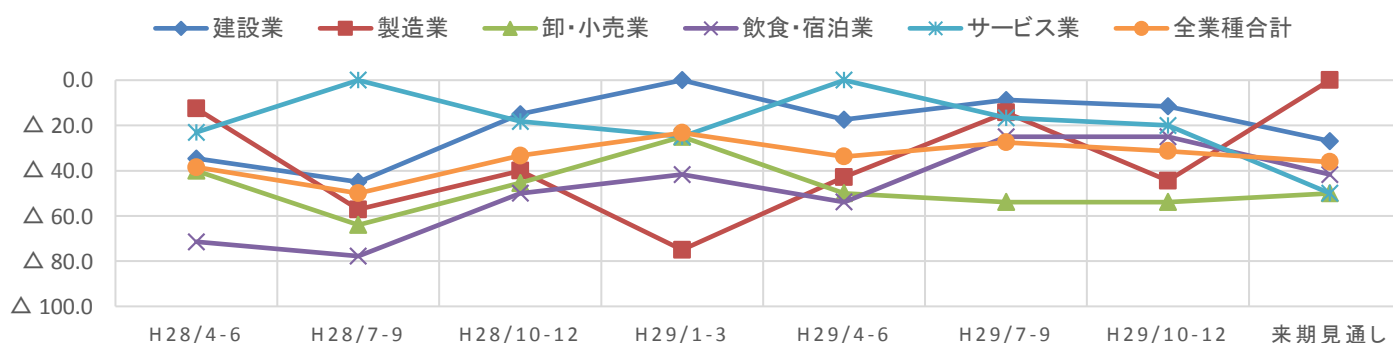
<コメント>

売上は、前年同期と比較して、全業種で31.3ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しは、建設業においては、当地域の特性から冬季間の受注減少で例年悪化傾向となるが、製造業を除く業種で50ポイント以上悪化を予想している。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



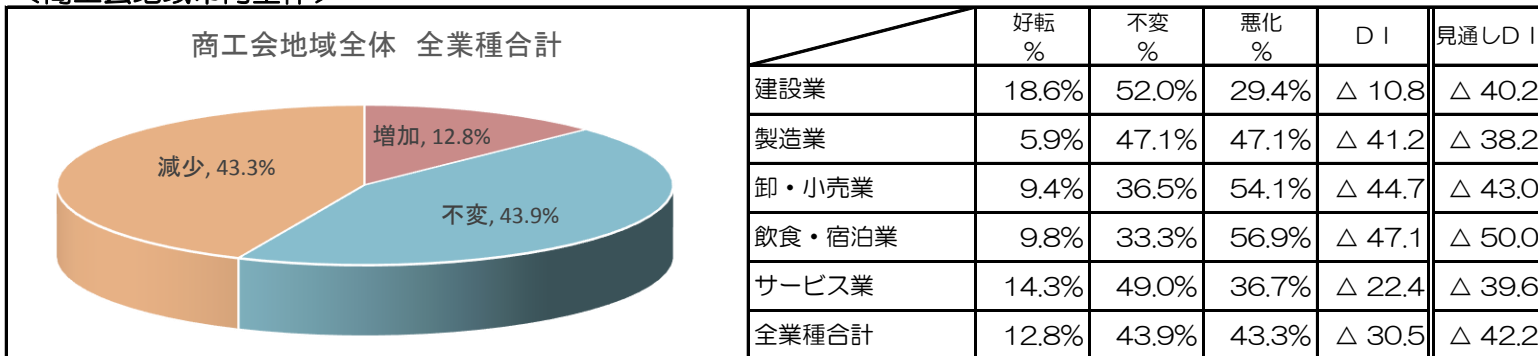
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△31.3%の減少となっている。特に卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しでは全業種で更に△4.8ポイントの減少を予想している。製造業については44.4ポイントの改善を予想しており、卸・小売業も3.8ポイントの改善を見込んでいるが、その他の業種においては厳しい予想をしている。

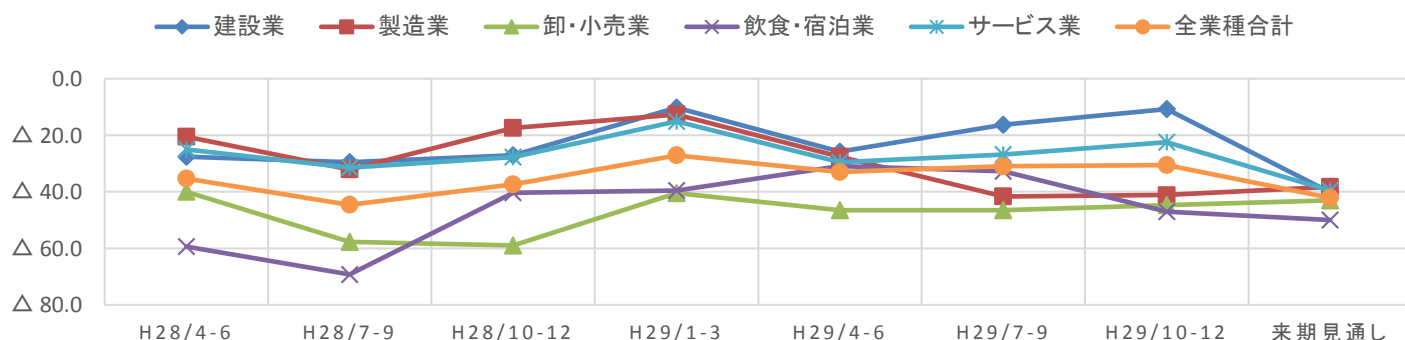
2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



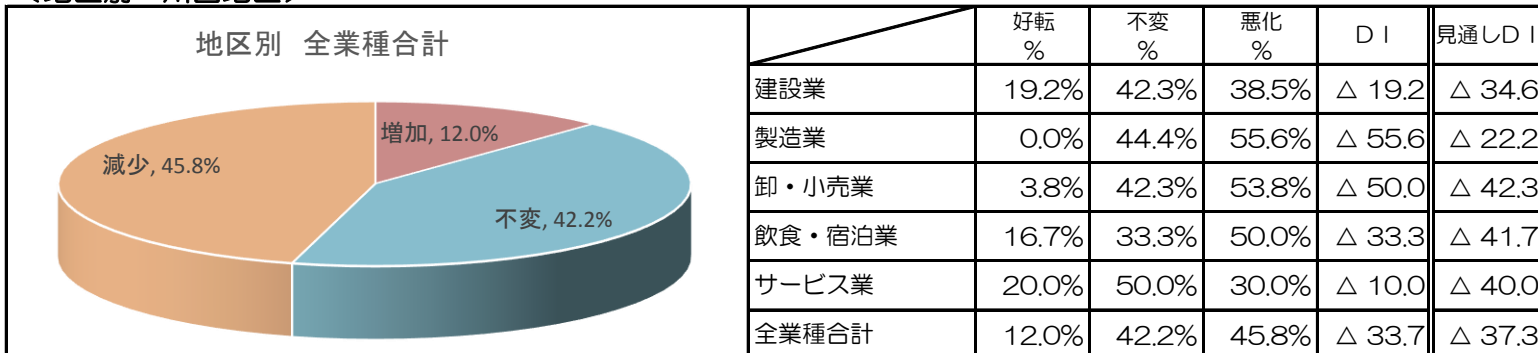
業種別採算の推移(市内全体)



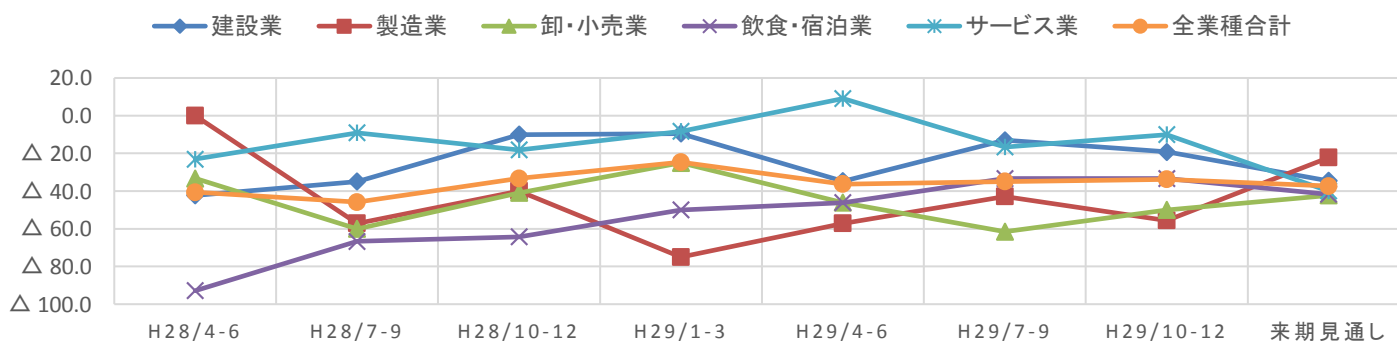
<コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で30.5ポイント悪化。飲食・宿泊業と卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しでは、建設業は、売上予想と比例し悪化傾向であるが、全業種で42.2ポイント悪化を予想している。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



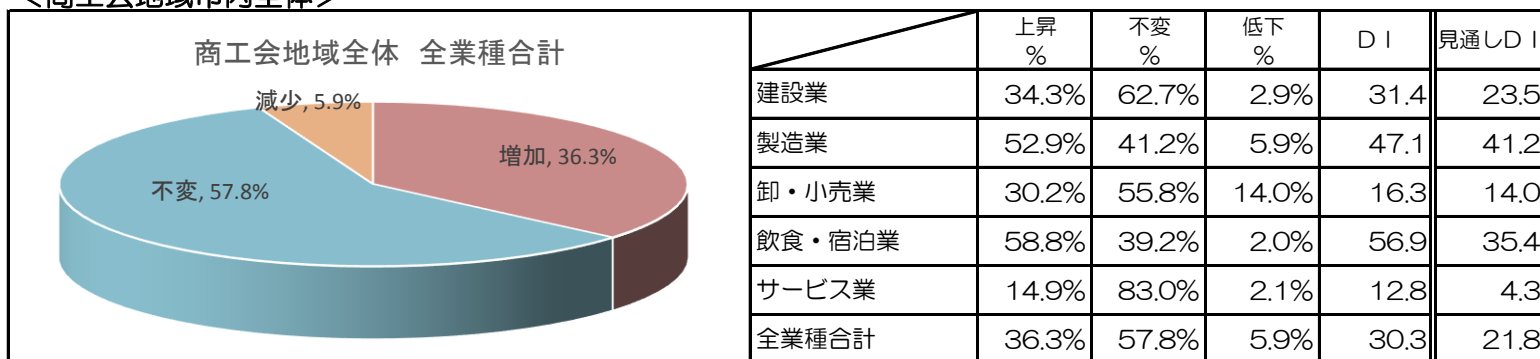
<コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△33.7ポイントの悪化となっている。特に製造業・卸・小売業の悪化が目立っている。来期見通しでは全業種で悪化となっており、△37.3ポイントの悪化を予想している。

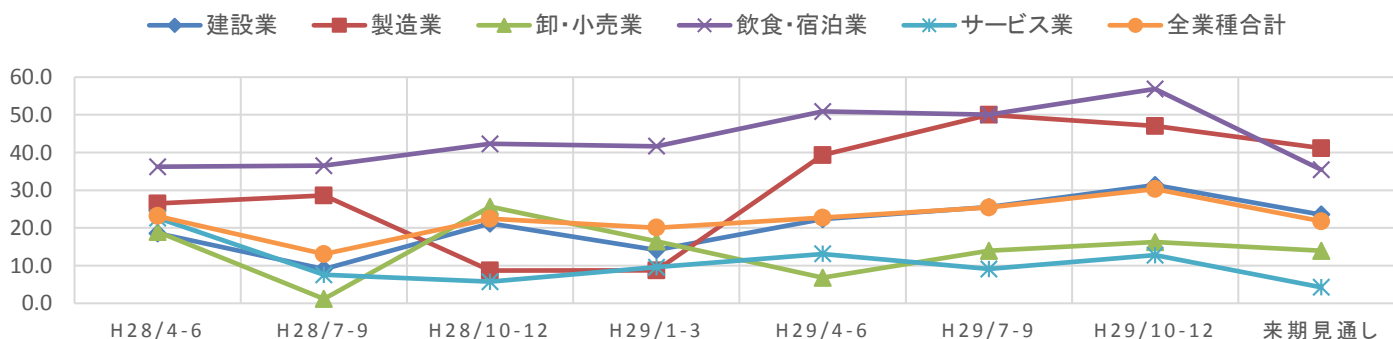
3. 仕入単価について

・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



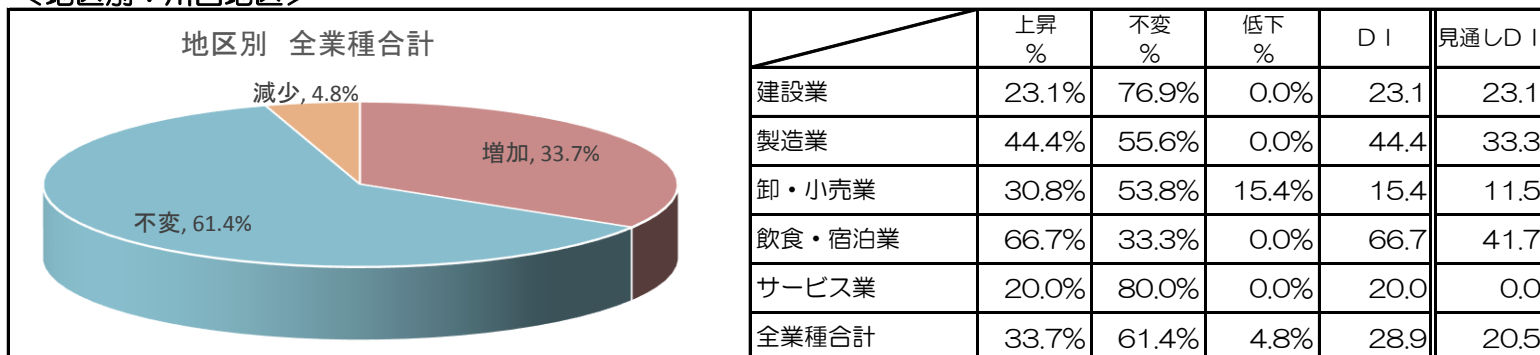
業種別仕入単価の推移(市内全体)



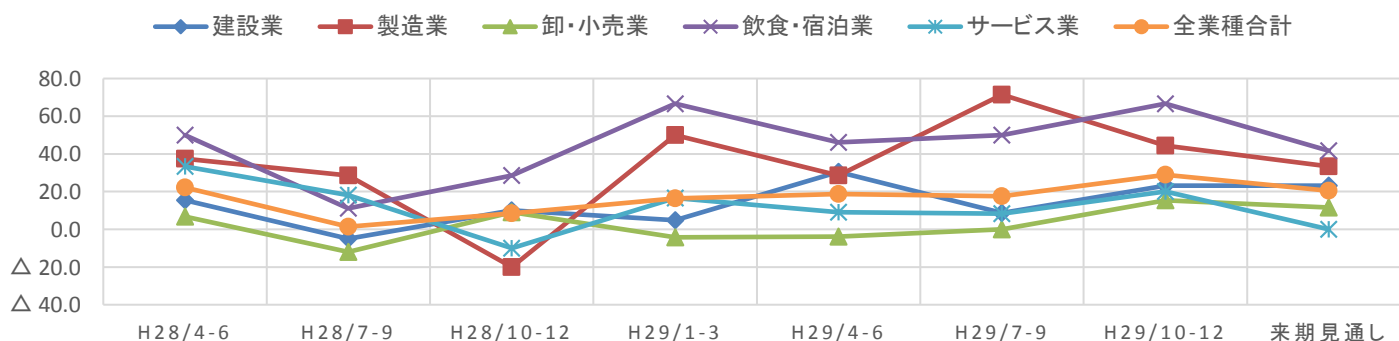
<コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で30.3ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



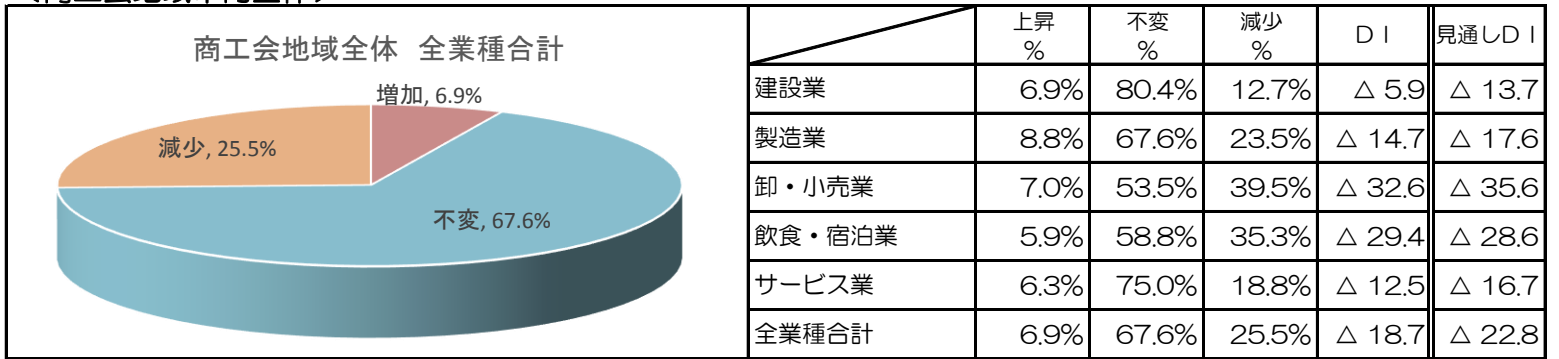
<コメント>

川西地域の仕入れ単価は前年同期と比較して28.9%上昇している。特に製造業・飲食・宿泊業の上昇が目立っている。来期見通しでは8.4ポイントの改善を予想している。

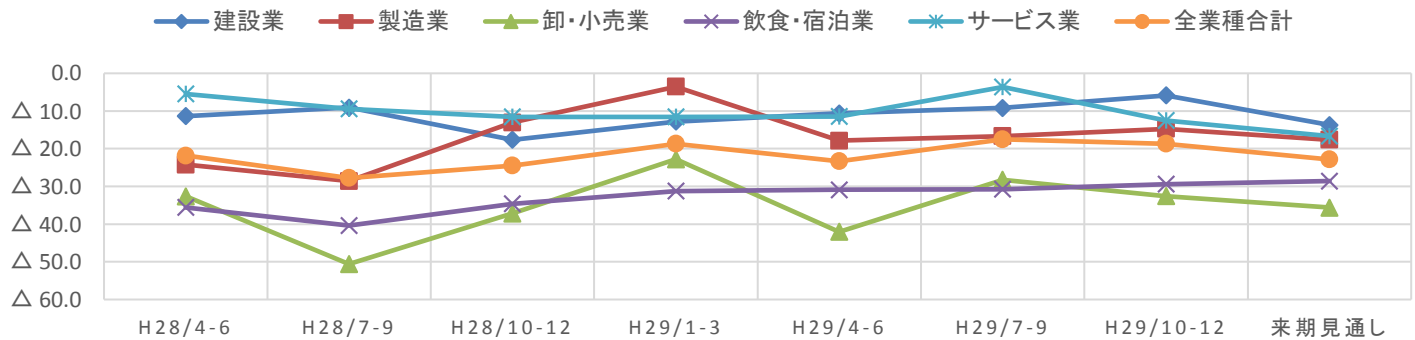
4. 販売（客）単価について

・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



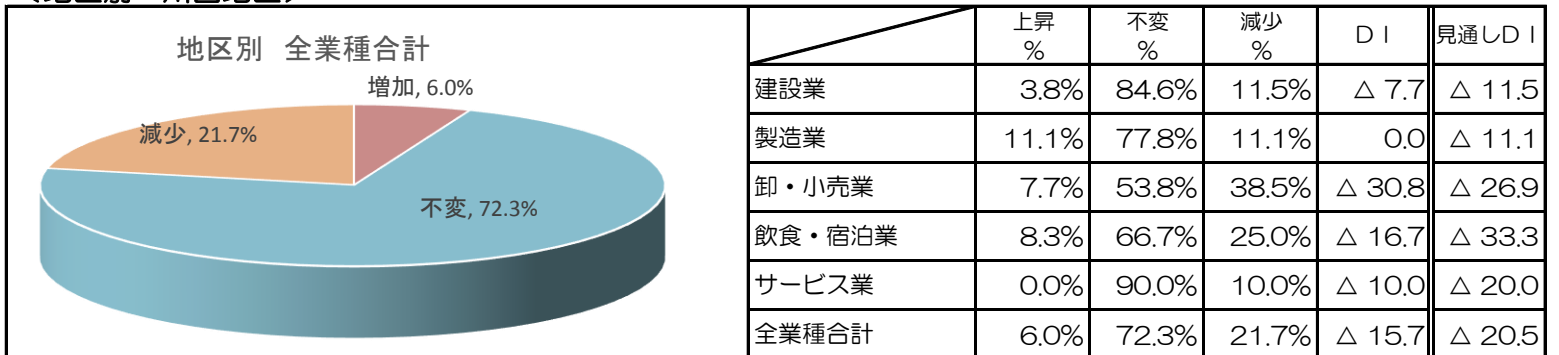
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



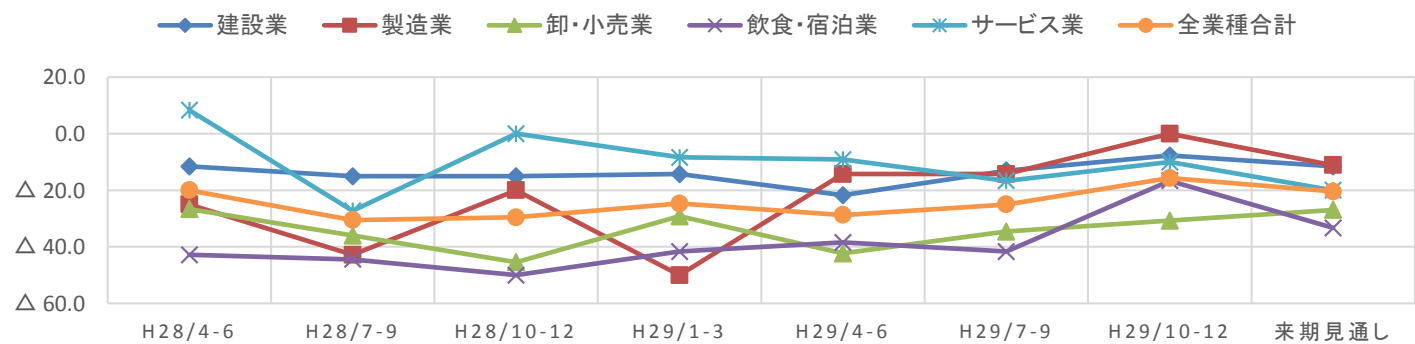
<コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、18.7ポイント低下。来期見通しても、全業種で低下予想をしている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



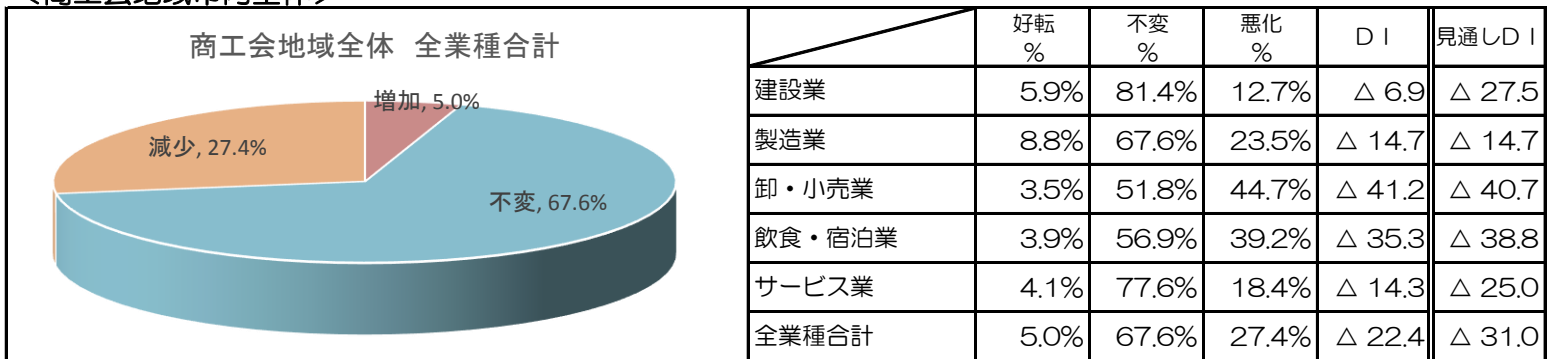
<コメント>

川西地域の販売単価は全体的に不変との回答が72.3%であったが、DI値を見ると製造業以外の業種で減少している。来期の見通しは全業種で減少を傾向との見方をしている。

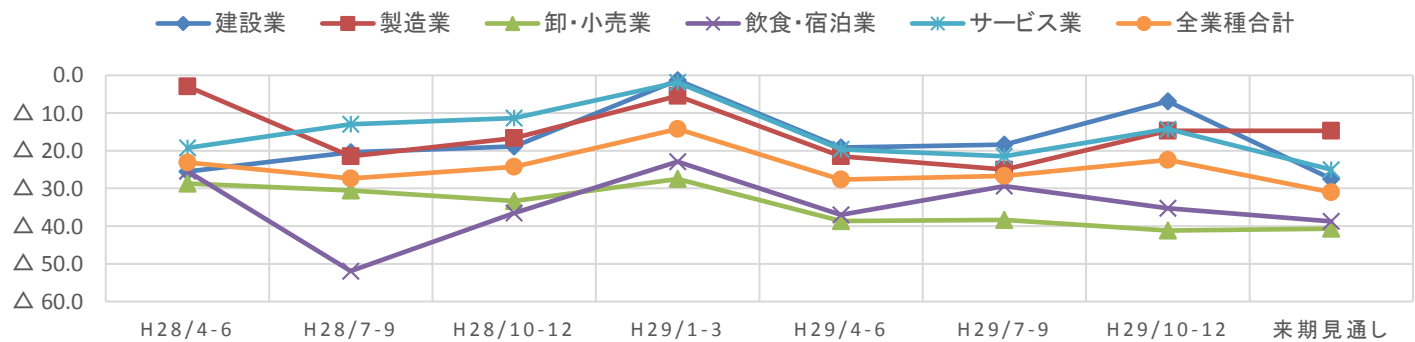
5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



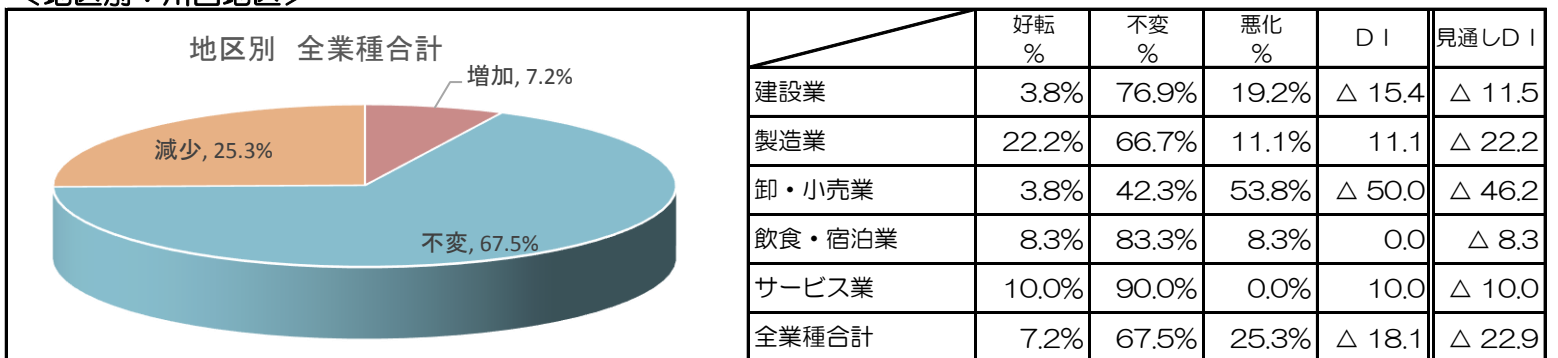
業種別資金繰りの推移(市内全体)



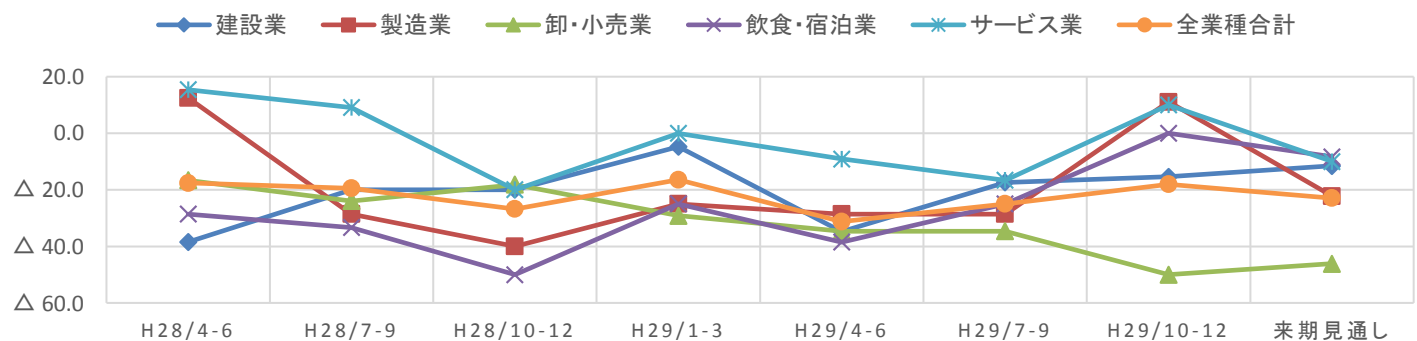
<コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、22.4ポイント悪化。依然として、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、厳しい状況は変わらない。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



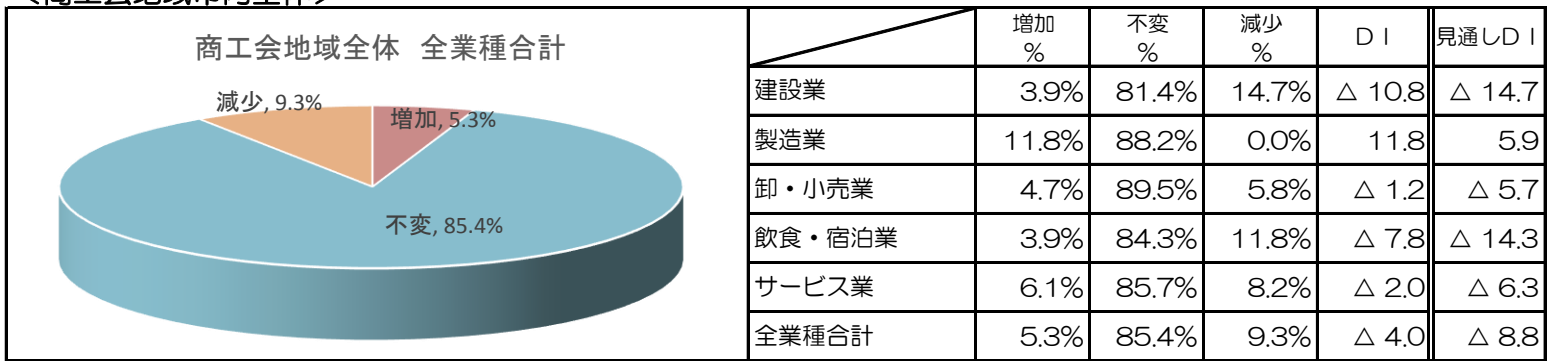
<コメント>

川西地域の資金繰りは△18.1ポイントの悪化で、特に卸・小売業の悪化が目立つ。全業種で来期見通しも、△22.9ポイントの悪化が予想されている。

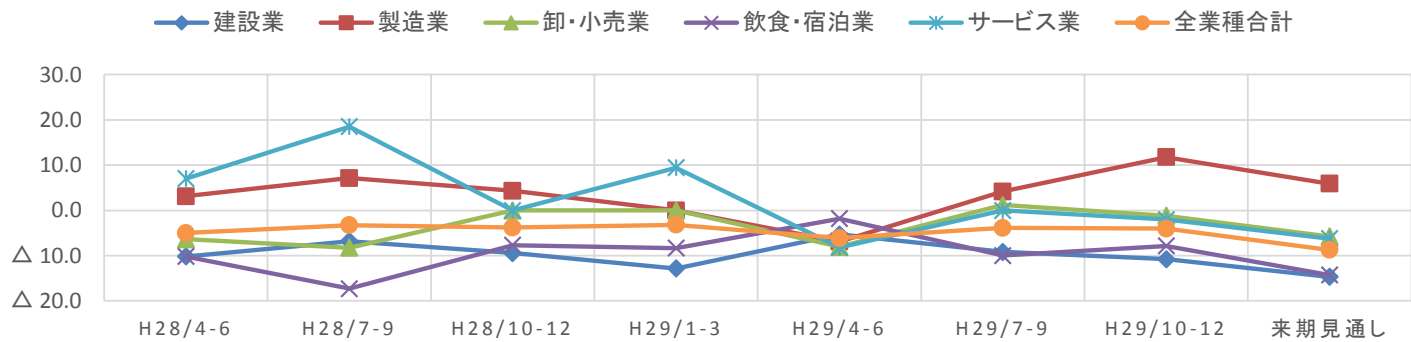
6. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



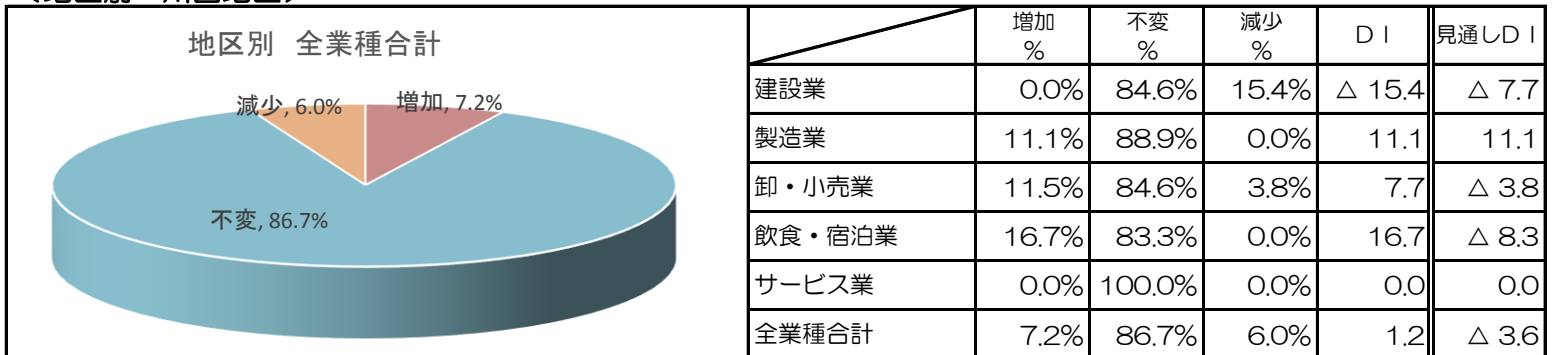
業種別従業員数の推移(市内全体)



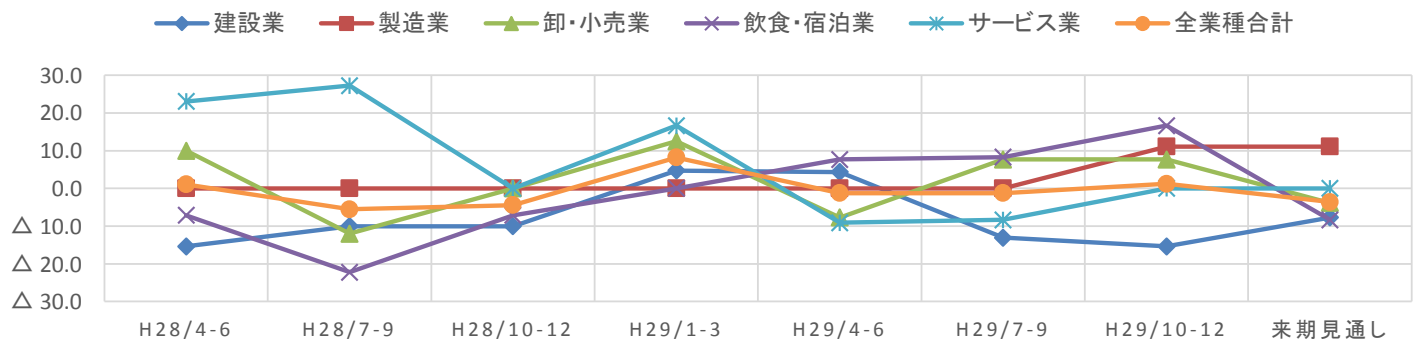
<コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、4.0ポイント減少。但し、製造業は11.8ポイント増加した。来期見通しでも、同じような傾向である。

<地区別：川西地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



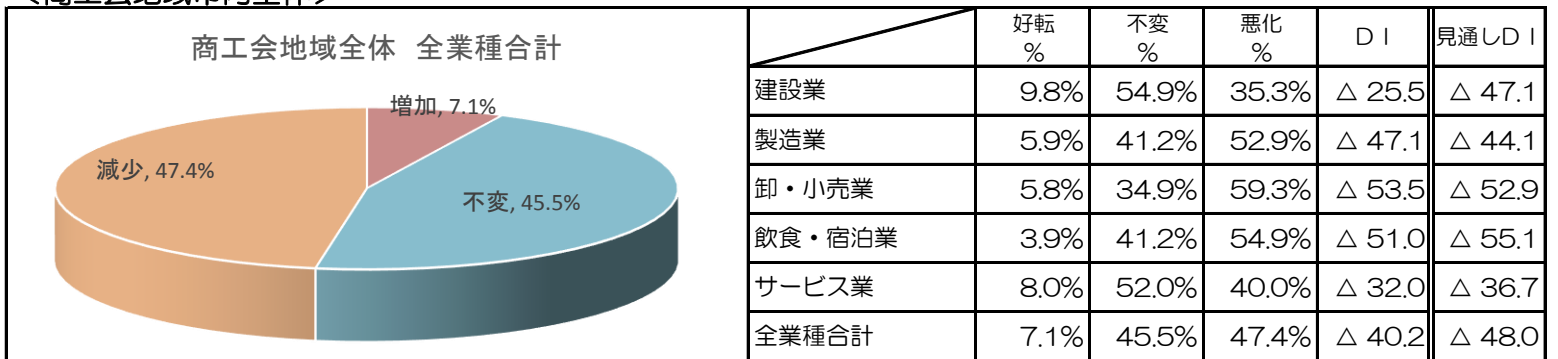
<コメント>

川西地域の従業員数は建設業のみが△15.4ポイント減少しており、その他の業種では増加している。来期見通しでは依然として建設業が減少傾向にあり、更にサービス業・製造業以外も減少傾向にある。

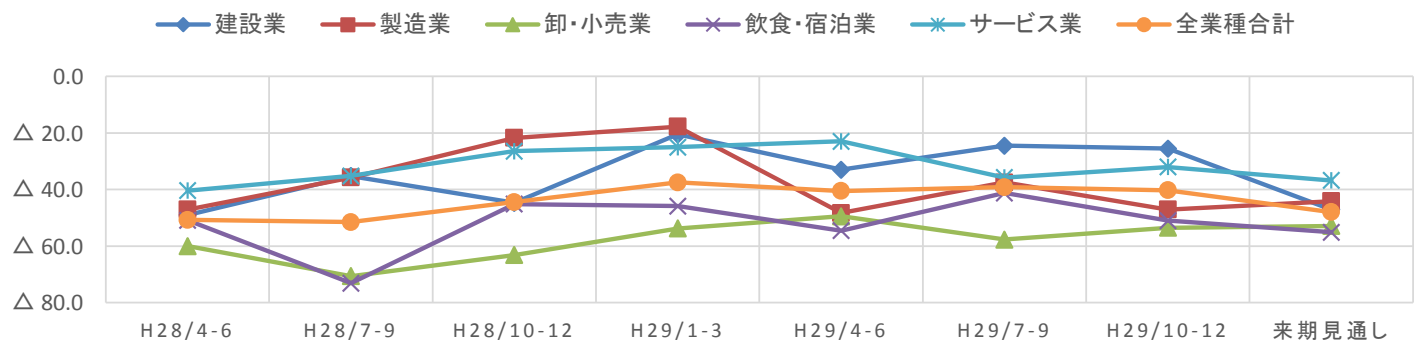
7. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



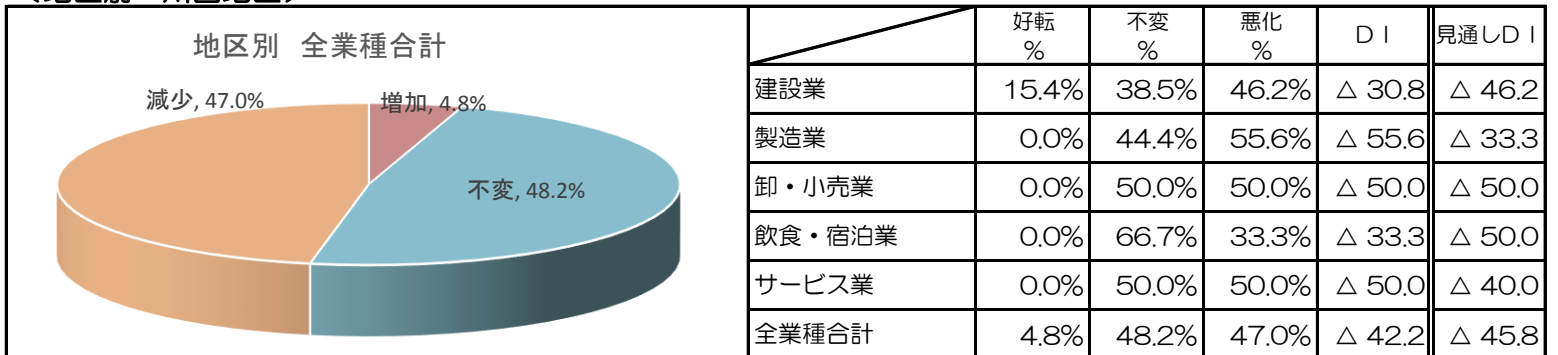
業種別景況判断の推移(市内全体)



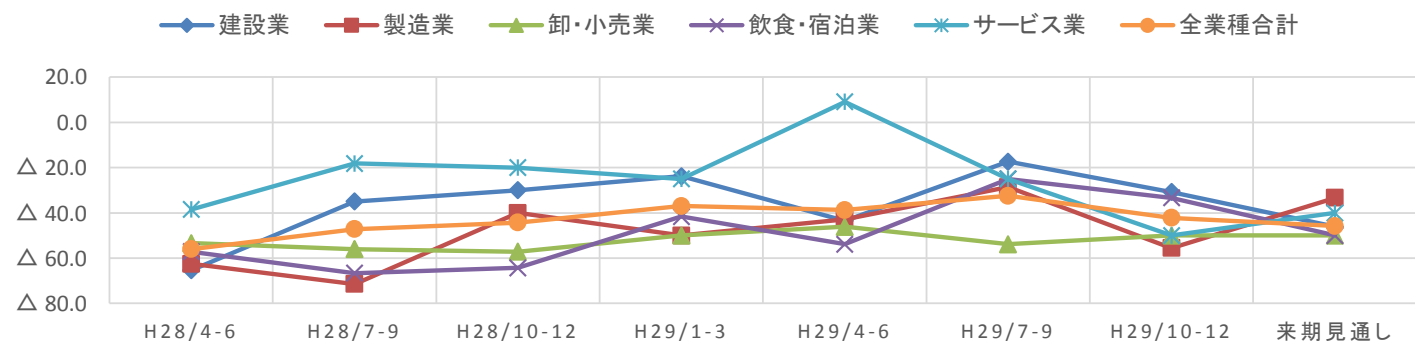
<コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で△40.2ポイント悪化。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業は半数以上が悪化と回答。製造業も悪化傾向である。来期見通しは、全業種で△48.0ポイント悪化予想であり、非常に厳しい見方をしている。

<地区別：川西地区>



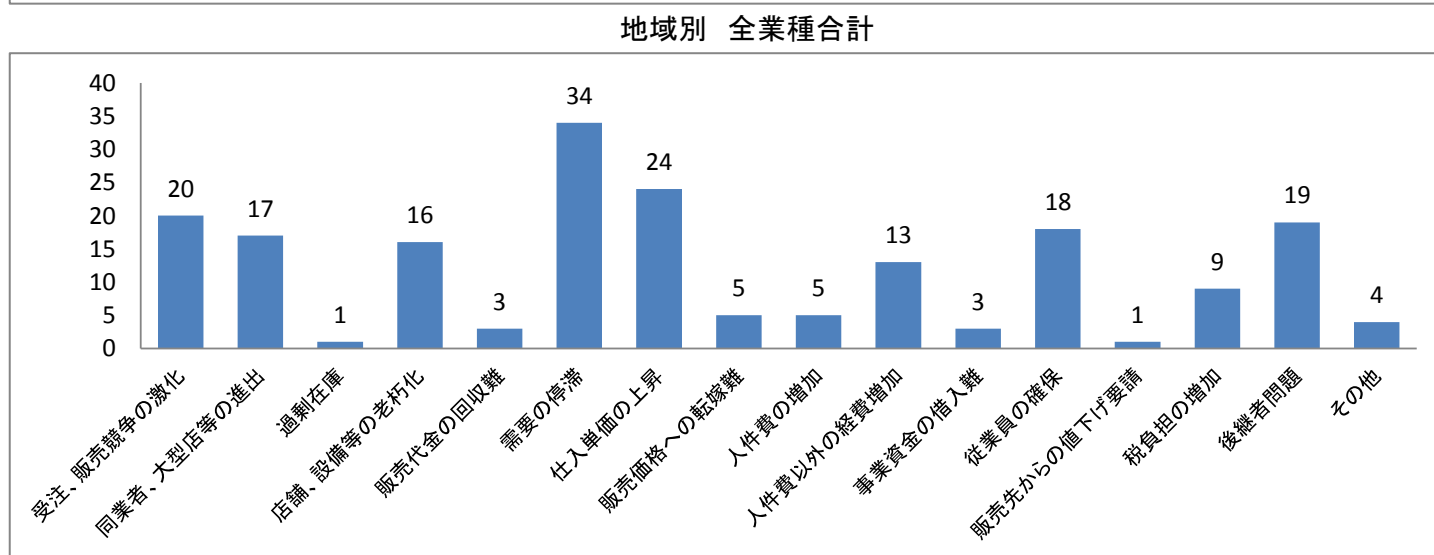
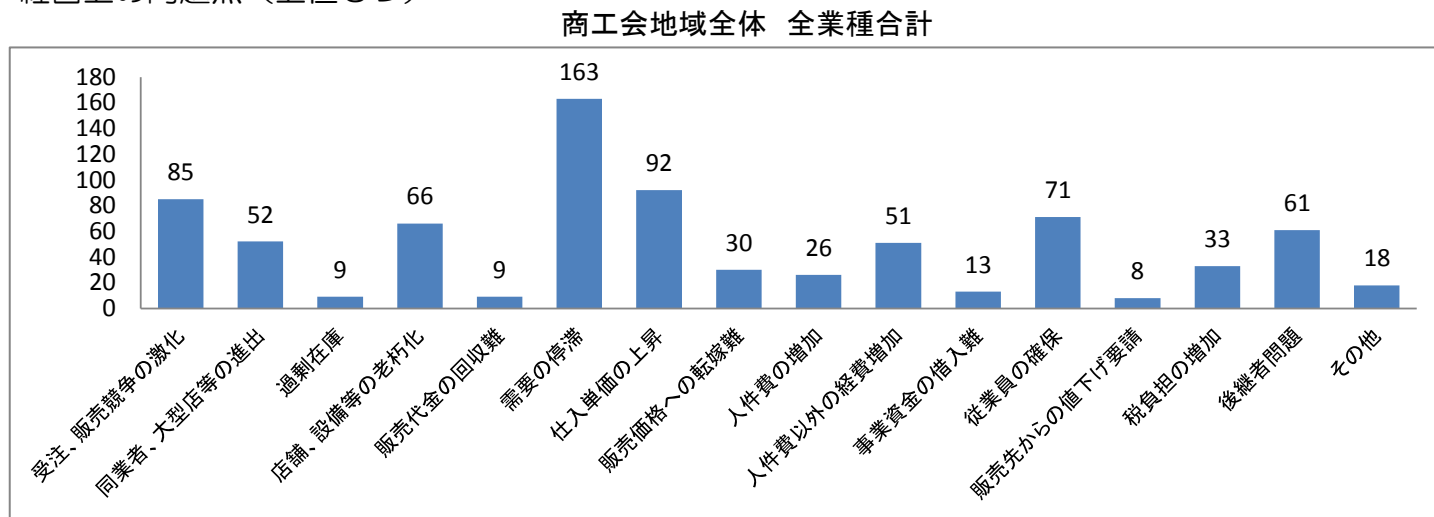
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

川西地域の景況は前年同期と比較して△42.2ポイント悪化となっている。全業種全体で悪化を示しており、来期見通しも△45.8ポイントと厳しい予想をしている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



<コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「受注、販売競争の激化」となり、前回調査3位の「仕入単価の上昇」が上位となった。

9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業においては「不変」との回答が多いものの「売上」「採算」「仕入単価」について「悪化」の回答が多く、工事受注数の減少と工事原価の上昇が伺える。また、経営上の問題点として1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」「受注販売競争の激化」となっており、「従業員の確保」の順位が前回よりも上昇している。。</p>
<p>【製造業】 製造業においては「売上」「採算」「仕入単価」において「悪化」の回答が多く、その他の項目においては「不変」の回答が多かった。建設業同様に売上原価が上昇している状態が顕れているが、従業員数においては上昇傾向にある。経営上の問題点として、1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」3位「後継者問題」となっており、事業承継といった課題が新たに挙げられていた。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業においては「売上」「仕入単価」「販売単価」「資金繰り」が大きく悪化しているが、「従業員の確保」は上昇傾向にあるなど雇用状態は好調の兆しを見せている。経営上の課題の上位は1位「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」2位「後継者問題」「同業者、大型店等の進出」となっており、競争が加速する一方で、依然として事業承継も今後の課題のひとつとなっている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては「売上」「採算」「仕入単価」「販売単価」が悪化傾向にある中、「資金繰り」は不変である。そして、「従業員数」が上昇傾向にあることから、働き手の確保に積極的な様相が伺える。経営上の課題としては、1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」3位「店舗、設備の老朽化」となっている。前回よりも「仕入単価の上昇」を課題とする事業所が増加している。</p>
<p>【サービス業】 サービス業においては「売上」「採算」「仕入単価」「販売単価」が悪化しているが、「資金繰り」については前年より10ポイント増加しており、資金繰りは多少安定している傾向にある。経営上の課題として1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店舗の進出」「税負担の増加」が挙げられており、多くの事業所が競合他社を意識している状態である。</p>